

市町村提案・実施事業 成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 23 年度

市町村名	寄居町		
提案事業名	障害者交流促進支援事業		
事業期間	23 年度	～	年度
事業の必要性、目的	<p>本町では、増加傾向にある障害者の方々に対して国の自立支援に係るサービスだけでなく、地域で生活するための支援体制やサービス体制を整備しているものの、依然として障害者の社会参加や就業の機会は少なく、活動しやすい環境としては多くの課題が残されている。</p> <p>障害者の社会生活力を高めるための交流拠点施設として旧熊谷保健所寄居分室を改修し、レクリエーション、軽運動、相談室、交流室等を備えた専用の施設として障害者交流センターを整備する。この施設を利用し、現在まだ十分でない障害者支援団体の組織化を推進するとともに、障害者自身やその家族の交流の場を提供しその活動場所を拡大することでひきこもり防止や家族間の情報の共有化を図り、障害者が地域で安心して暮らせるまちづくりを推進する。</p>		
成果指標	(成果を検証する指標)		
	年間利用件数		
	(成果検証の具体的な方法)		
	施設の年間利用件数を求め、利用状況を分析することにより事業の効果を確認する。		
	(上記の指標を設定した理由)		
	本事業が施設の利用による障害者の交流を目的の一つとしているため。		
	(成果の目標値)		
	現状値 (22年12月現在)	0/年	目標値 (25年3月時点)
			72回/年 (6回/月)
	(施設建設等の場合)		
	年間利用者数(目標)(人)	450	稼働率(目標)(%)
			-
	住民への公表方法 及び特記事項	町公式ホームページで公表	

【成果指標と構成事業の関連性】

平成 年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 障害者交流支援事業	ハード 障害者の社会生活力を高めるための交流拠点施設として旧熊谷保健所寄居分室を改修し、レクリエーション、軽運動、相談室、交流室等を設置する。平成23年度では障害者用トイレの設置等、障害者に対応した環境整備を行う。	7,450
②	ハード ソフト 実行委 間接補	
③	ハード ソフト 実行委 間接補	
④	ハード ソフト 実行委 間接補	
合計		7,450

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	障害者支援に関する関連団体等の意見を踏まえ、施設の役割や機能について有効な利用方法を検討し事業に反映する。
成果指標の達成見込み	他の施設等を利用している団体から施設利用者を拡大し、新規団体の登録を順次増やすことで目標を達成する。